

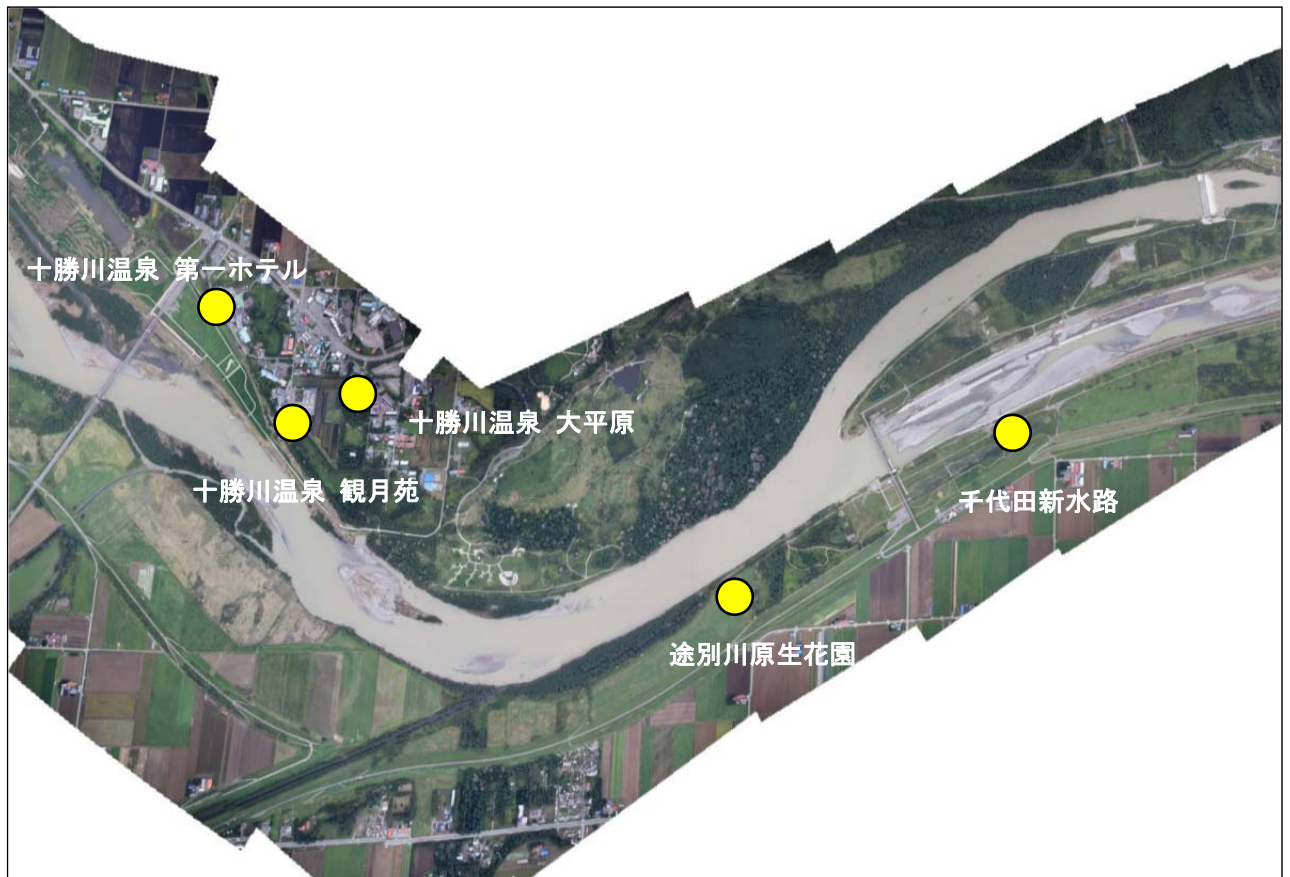
十勝川中流部市民協働会議_活動記録 (22)

十勝川中流部タンチョウ給餌場設置作業

タンチョウが安定して越冬できるよう環境省が推進している越冬地の分散、さらには観光資源を視野に入れ、タンチョウの餌台を設置しました。高校生によるタンチョウ給餌場の設置は平成 26 年から行い、今年の設定箇所は 5 か所になります。また、給餌場設置に先立ち洪水後の掘削地を見学し現況説明を行いました。

- 日 時：平成 29 年 11 月 16 日（木） 12：30～15：20
- 参加者：帯広工業高等学校 環境土木科 2 年生（40 名）
十勝川中流部市民協働会議 8 名
帯広開発建設部帯広河川事務所 2 名
- 活動内容（1）：途別川合流点右岸下流部_河道掘削跡地の見学
- 活動内容（2）：タンチョウ給餌場の設置
- 場 所：途別川原生花園 1 か所・千代田新水路 1 か所・十勝川温泉 3 箇所

給餌場設置箇所 ●



作業に先立ち、帯広河川事務所の佐藤維持係長から開催の挨拶と、作業内容の説明が事務局の室瀬氏からありました。



集合・整列する生徒



挨拶する佐藤維持係長



道具を説明する室瀬氏



給餌場設置個所で作業内容を説明する様子

活動内容 1. 途別川合流点右岸下流部_河道掘削跡地の見学

今まで帯工生の先輩達が移植した草花や播種した箇所が、昨年度の台風の影響で流出したことを説明し、今のままでは原生花園にする場所としては適していないことを説明しました。

一方で、河床侵食で出来た水溜りに集まる動物の足跡や、出現した埋もれ木の歴史などについて説明がされました。



洪水の影響について説明する室瀬氏



水溜りに集まる動物の足跡について説明する様子



埋もれ木の歴史について説明する室瀬氏

活動内容 2. タンチョウ給餌場の設置

高校生は2班に別れ、途別川原生花園と千代田新水路、十勝川温泉第一ホテル前と観月苑前の高水敷に給餌場を設置しました。もう一か所の十勝川温泉大平原は、高校生の時間の都合上、事務局員で設置しました。

また、今回の活動の応援として、十勝川温泉大平原の中津川社長も来てくれました。

<千代田新水路>



設置指導の様子



高校生による設置作業風景



ムシロを付けている様子



デントコーンを入れている様子



完成後の記念写真



完成した給餌場

<相川地区原生花園>



高校生による設置作業風景



デントコーンを入れている様子



ムシロを付けている様子



完成した給餌場

<十勝川温泉第一ホテル前>



高校生による設置作業風景



デントコーンを入れている様子



ムシロを付けている様子



完成した給餌場

<ホテル観月苑前>



高校生による設置作業風景



デントコーンを入れている様子



ムシロを付けている様子



完成した給餌場

<十勝川温泉大平原前>



設置後の集合写真（後方中：中津川社長）完成した給餌場



平成 29 年 11 月 22 日 ホテル大平原前

サイトに動画があります。

(<http://churyubu.eco.coocan.jp/siryoku/kyoudou/20171124tancjou.mp4>)